

津田小学校 (2) 年

◆「見えない学力・見える学力」における津田小の子どもたちの課題

【見えない学力】

- ・他者を受け入れる力
- ・表現力

【見える学力】

- ・読解力
- ・語彙力
- ・計算力
- ・話を聞く力

めざす子ども像

- ①すべてが大切な存在 互いを認め合う仲間づくり◎
- ②「できた」「わかった」「がんばった」等 自己肯定感↑
- ③伝え合って互いを理解する コミュニケーション力↑

◆R06 校内研テーマ

「仲間とつながる授業づくり～きょうどう）学習を通して～」

◆学年としての取組をする上で、明確にしておきたいこと。

【子どもたちにつけたい見えない学力】

チャレンジ精神

→見通しが持てる説明、スモールステップ

他者を受け入れる力

→ペア学習、班活動、きょうどう学習、学び合い

協力する力

→相手意識、助けを求める力、もちあじ

【子どもたちにつけたい見える学力】

話を聞く力

→読み聞かせ、短い説明、見通しを持つ、雰囲気作り

表現力、語彙力

→一行日記、振り返り、言葉集め（語彙を増やす活動）

【個別最適な学びの充実に向けた取組】⇒ すべての児童に対して

①指導の個別化・学習の個性化の取組

児童一人ひとりの学習状況に応じた支援、個別指導を行う。

②支援教育の観点に向けた取組

※支援学級・通級指導在籍児童については「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」もふまえて

- ・見通しを持たせる
- ・可視化する。
- ・パターン化する。

【協働的な学びの充実に向けた取組】 ⇒ **すべての児童に対して**

①協働的に取り組む学習活動

- ・ペア学習や班活動に取り組む。

②人権教育の観点に基づいた取組 ⇒ **日々の学習活動を通して**

- ・もちあじ、違いを受け入れる取組み、安心できる環境づくり（言葉遣い等）

【校内研のテーマに対する取組】

一人ひとりの「もちあじ」を生かしたペア学習や班活動、学級活動を行う。

【SDGsの取組】（「やり切る」が大事！）

テーマ： 野菜を育てる。

【道徳教育のあり方】

多様性を理解し、受け入れることができる取組み。道徳的価値を知り、日常生活に活用しようとする態度を身につける。